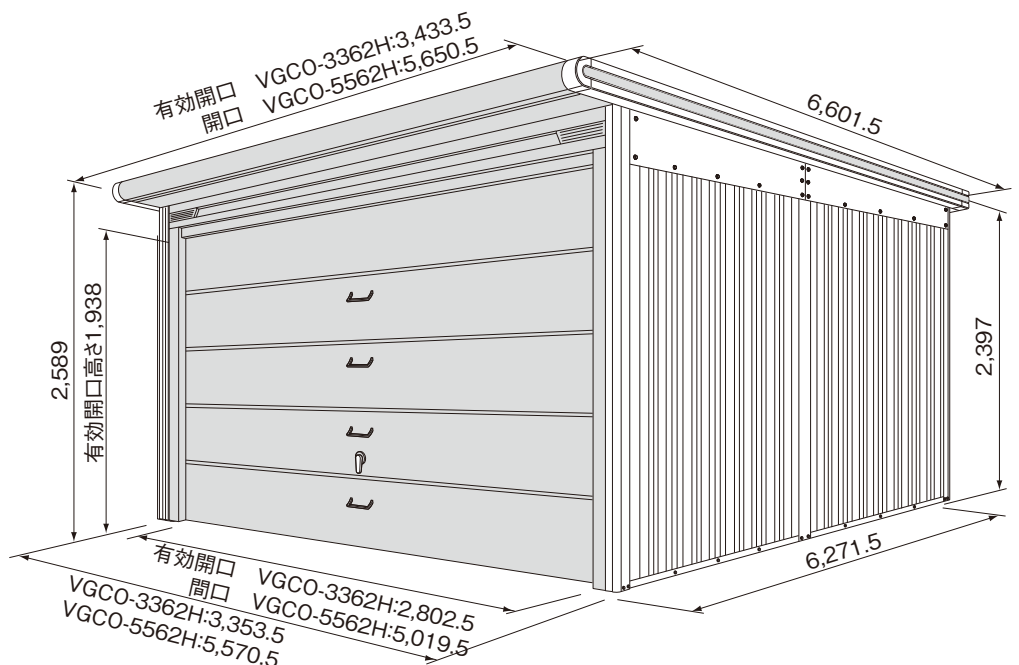


ヨドガレージ ラヴィージュⅢ

(オーバースライディングタイプ) 組立説明書

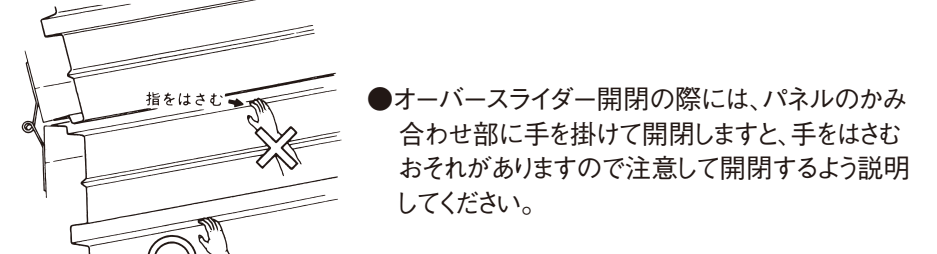
VGCO-3362H VGCO-5562H VGCO-8862H (3362H+5562H)

この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。施工前に必ずお読みください。
また、部品箱の中の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
本書は、8862Hタイプに向かって左側を一台用(3362H)、右側を2台用(5562H)連続させる形で記載しておりますが、単棟タイプ、3連棟以上も手順は同様です。



- (組立にあたって)
- 基礎の水平が出ていないと建付けが悪くなりますので、必ず水平を確かめてください。
 - 部品の共通化のために、実際には使用しない穴があいている部品がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 開口部オーバースライダーは別途工事ですので、梱包は開梱せずに、雨のかからない場所に保管しておいてください。
 - オプションのリモコン式の場合、桁中の中央から後に600mmの位置までアース孔付2口コンセント(100V)を配線しておいてください。

一次電源の配線(屋外からガレージ内への配線)は、電気工事免許が必要となりますので必ず最寄りの電気工事店へ依頼してください。

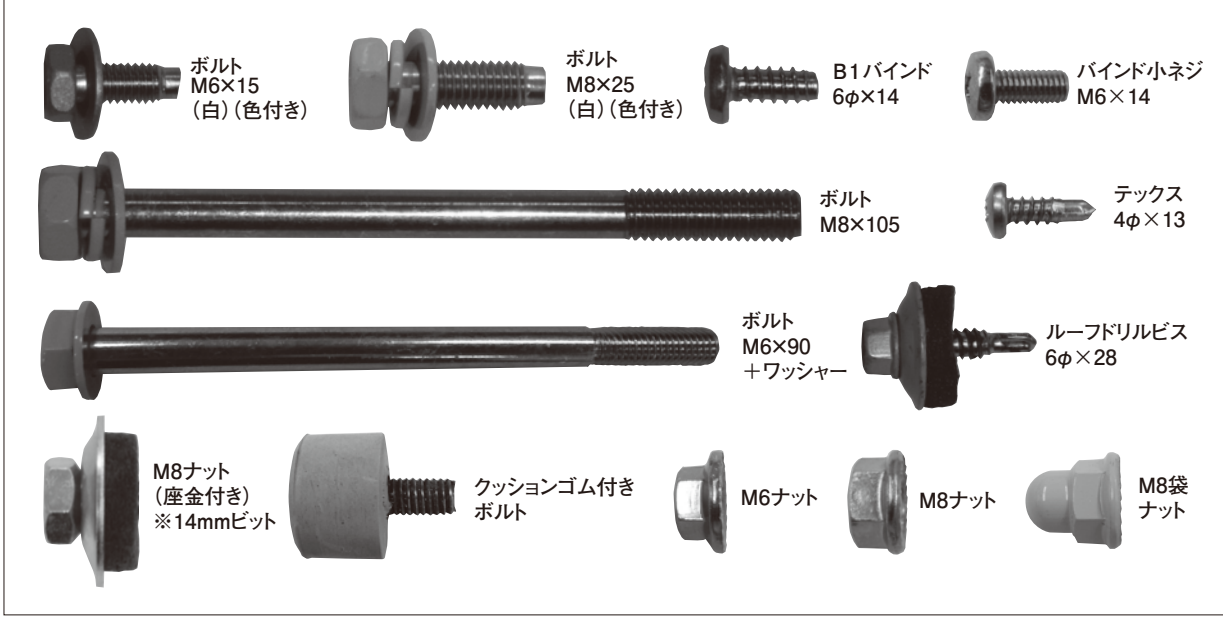


- 設置場所の制限
- 注意** ●大屋根からの雨水や、雪が直接ゴトガレージの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 注意** ●崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 注意** ●給湯器の前には設置しないでください。

- 施工全般
- 注意** 施工の際には、次の点を必ず守ってください。
 - ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
 - 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平が出ていないと、ガレージの建付けが悪くなります。
 - 強風時や雨天時の組立ではおやめください。
 - 高所での組立となりますので、足場板、安全帯などを使用し、作業時の安全には、十分注意してください。
 - 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
 - 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
 - ボルトは口に入れてください。

- 屋根の施工
- 注意** ●屋根に上がる場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
 - 注意** ●屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

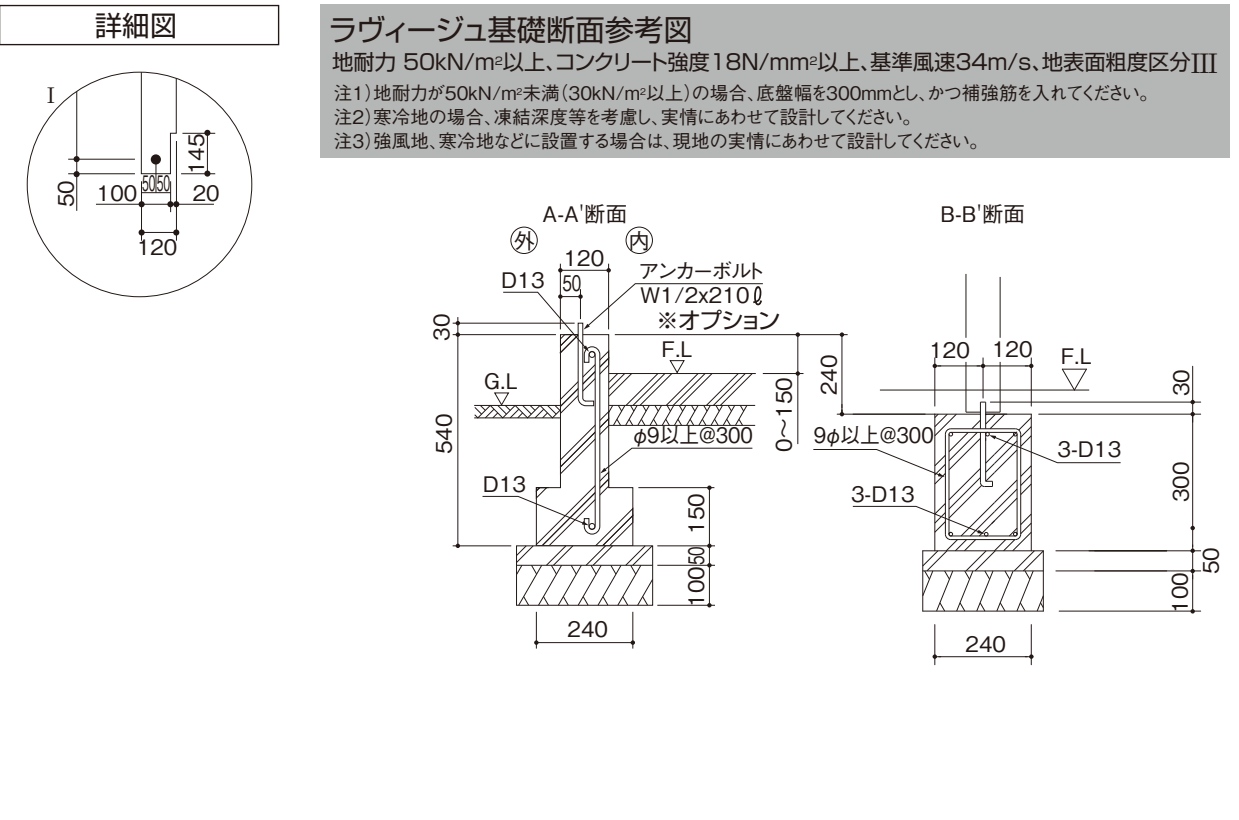
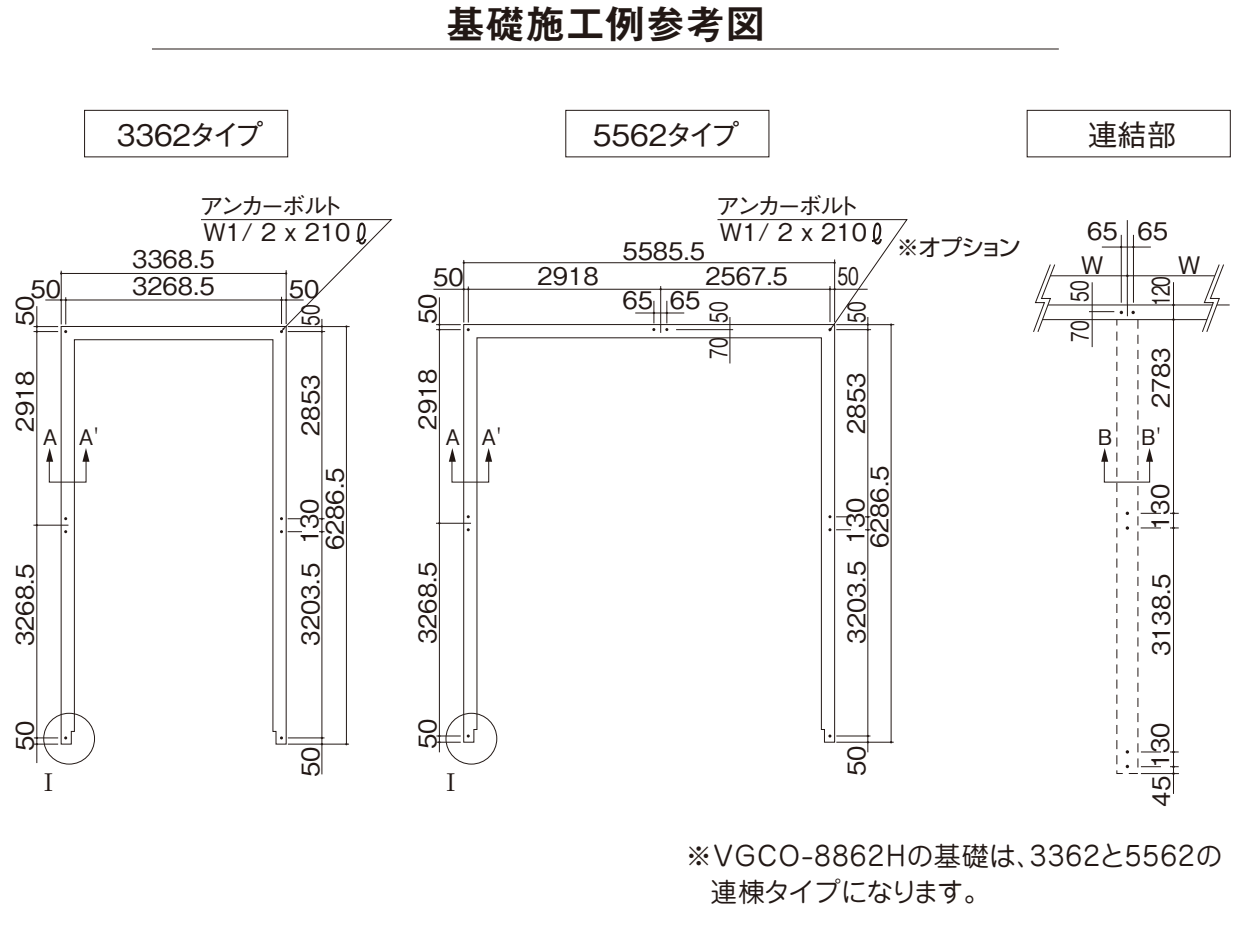
- 組立に必要な特殊工具
 - ・幅14mmビット(屋根固定用)・幅21mmビット(アンカーボルト固定用)
 - ・3番手プラスビット(フレーム固定用)・ペンチ(シャッターカシメ用)
- 使用ビス一覧



梱包組合せ表

基本棟		3362H	5562H
梱包名	梱包番号		
部品	VG4-0104	1	
	VG4-0105		1
	VG4-0202	1	1
柱	VG4-0222	1	1
	VG4-0233	1	1
袖柱	VG4-0281	1	1
	VG4-0312	1	1
間柱	VG4-0342	1	1
	VG4-0332		2
上枠	VG4-0404	1	1
	VG4-0408	1	1
梁	VG4-5434	1	1
	VG4-0534	1	1
前後材	VG4-0535	1	1
	VG4-0536	1	1
左右材	VG4-0604	1	1
	VG4-0614	1	1
桁前	VG4-0744	1	1
	VG4-0745	1	1
桁前補強	VG4-0754	1	1
	VG4-0755	1	1
桁前カバー	VG4-0764	1	1
	VG4-0765	1	1
桁中	VG4-0774	1	1
	VG4-0775	1	1
桁中補強	VG3-0784	1	1
	VG3-0785	1	1
	VG4-5712	1	1
桁後	VG4-5714	1	1
	VG1-0814	1	1
ブレース	VG1-0824	1	1
	VG1-0834	1	1
	VG1-0834	1	1
	LM5-1013	1	1
壁	LM5-1014	4	4
	LM5-1031	1	1
	LM5-1032	1	1
屋根	VG4-1003	6	10
	VG4-1012	6	10
引き戸	LM5-1771	1	1
	LM5-1772	1	1

※VGCO-8862Hは、5562Hと3362Hを連続した組み合わせになります。



1 水切りの設置

① 水切りを基礎に設置します。
(水切り後)にはシールが貼ってありますので必要な孔部を切ってください。

② 水切り の重ね部、アンカーボルト周辺にコーキングを施します。

注意 コーキングが不十分だと雨水が庫内に浸入しますのでしっかりと塗布してください。

後柱左右に後面ブレース(16φ)を取り付ける場合は、アンカーボルトが増えるため水切り側の後面に孔加工を行ってください(下図参照)

アンカーボルト部分のコーキングは孔が完全にふさがるように塗布してください。

孔がふさがっていない。

2 アンカープレートの取付け

① (アンカープレート)をアンカーボルトに仮止めします。
※本締めは下枠設置後に行います。

② オプション間仕切りを取り付ける場合は(前柱中カバー)を(アンカープレート(R))に設置して固定しアンカーボルトキャップを被せます。

アンカープレート(A)左 アンカープレート(B) アンカープレート(C) アンカープレート(R) ※左右共通

3 下枠の取付け

① 下枠を下側の配置図に従って配置しアンカープレートに固定します。
下枠上部部のボルトは仮止めします。

② アンカーボルトを本締めします。

ボルトM8X25(白) ※仮止め

ここは固定しません。

注意 下枠33、下枠26には左右がありますので配置図を見て正しく設置してください。

下枠配置図

VGCO-5562H VGCO-3362H

4 下枠カバーの取付け

① 下枠カバーを下枠に取り付けます。

② 仮止めしたボルトを締め付けて固定します。

下枠カバー(A)左 下枠カバー(A)右 下枠カバー(B)左 下枠カバー(B)右

5 中柱の孔加工

① ドリルで中柱(左右)に10φの孔加工します。(連続の場合、中柱(中)も同様に孔加工してください。)

※シャッタータイプと連続する場合、シャッタータイプ側の孔加工は不要ですのでご注意ください。

10φ孔加工 17.5 90 70

中柱(左右) 中柱(中) ※連続する場合

5 柱の取付け

注「強風地向け補強材」を取り付ける場合は柱に孔加工が必要です。設置場所にスペースが無い場合は先に孔加工してください。加工については「強風地向け補強材」の組立説明書 (VG4-7051) をご参照ください。

- ① 柱をアンカープレートに取り付けます。
- ② 柱補強金具を後柱(左右)に取り付けます。

使用ボルト ①② ボルトM8×25(白)

注意 柱が下枠に入らない場合は下枠の配置(工程3)を確認してください。

柱が倒れる恐れがありますので場合によっては倒れ防止を行ってください。

6 桁の取付け

注「目隠し」を取り付ける場合、桁前は専用部材になります。「後面シャッター」を取り付ける場合、桁後は専用部材になります。

- ① パネル受けフレームB-Nを桁前、(面戸フレーム)を桁後の両端に取り付けます。
- ② (桁前)、(桁後)を柱に取り付けます。
- ③ 連棟の場合、(梁取付金具(A)(C))を前柱中、後柱中に桁と同時に取り付けます。

使用ボルト ① ボルトM8×25(白), M8ナット
② パイント小ネジM6×14+M6ナット
③ ボルトM8×105+M8袋ナット

カーボ連結時はカーボ側にはパネル受けフレームB-Nは取り付けないでください。(面戸フレームは取り付けます。)

7 桁中の取付け

- ① パネル受けフレームB-Nを桁中の両端に取り付けます。
- ② (桁中) (桁中補強)を柱に取り付けます。
- ④ 連棟の場合、(梁取付金具(B))を同時に取り付けます。

使用ボルト ① ボルトM8×25(白), M8ナット
② ボルトM8×105+M8袋ナット

※メッキ仕上げ

※部は電動仕様にした場合に電動用レールが通る角孔があります。手動の場合は付属のゴムキャップで塞いでください。

8 上枠の取付け

- ① 上枠前と上枠後を柱に取り付けます。

使用ボルト ① ボルトM8×25(白), M8ナット
② ボルトM8×105+M8袋ナット

※上枠上部には部材共通化のため、使用しない孔があります。相手の無い孔はボルト固定不要です。

ツメを柱上端の切欠きに引掛けてボルト止めします。

9 梁の取付け

- ① 5562Hタイプは(梁S後)を取り付けます。
- ② ※連棟する場合、連結部は(梁前・梁後)を取付けます。
- ③ パネル受けフレームA、(面戸)を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。

使用ボルト ①② ボルトM8×25(白)+M8ナット
③ パイント小ネジM6×14+M6ナット
B1パイント6φ×14

10 間柱の取付け

注「強風地向け補強材」を取り付ける場合、上枠補強材を先に上枠に載せて間柱と一緒に固定してください。 ※間柱は専用間柱になります。(板厚1.6mm)

- ① 間柱側を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
- ② 間柱後を後面の下枠、桁後に取り付けます。

使用ボルト ①② ボルトM6×15(白)

11 壁パネルの取付け

注引戸、補助ドア、サッシ窓のある場合は壁パネルの取付けと同時に行ってください。

- ① 壁パネルを室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。

使用ボルト ① ボルトM6×15(白)

12 プレースの取付け

注「カーポート」を連結する場合はプレースを取り付けた後から施工してください。(組立説明書はカーポートの部品箱)

- ① プレースを桁に取り付けます。
- ※調整は屋根を載せた後に行います。(先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)

使用ボルト ① ボルトM8×25(白)+M8ナット

標準	使用ボルト	梱包
ボルトM8×25(白)	ボルトM8×25(白)	本体部品箱
強風地向け補強セット	ボルトM12×30+27mm ワグ ワグ+クワカク	強風地向け補強セット梱包

※「強風地向け補強材」を取付ける場合、プレース取付孔を12φ孔に広げてください。桁中のインサートナットはドリル等で外して12φ孔に広げてください。

13 屋根の設置、建付け調整

- ① (ソフトテープ(白))を桁後のタイトフレームに沿って貼り付けます。
- ② 屋根後を向かって左から載せていきます。
- ③ (防水パッキン(黒))を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
- ④ 屋根前を向かって左から載せていきます。
- ⑤ プレースのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。

使用ボルト なし

調整する。

屋根の重ね部には絶対に乗らないでください。

部材名の印字のある方がカラーの前面になります。

14 屋根の固定

- ① 屋根の両端部を残し屋根をタイトフレームに固定し、(鉛先ボルトキャップ)を嵌めます。
- ② 屋根の流れ方向の重ね部を固定し(ルーフトドリルビスキャップ)を屋根裏からかぶせます。
- ③ 水上面戸を取付けコーキングを施します。

使用ボルト ① M8ナット(色付き)
② ルーフドリルビス6φ×28
③ テックス4φ×14

M8ナット(色付き)の締め付けは口幅14mmのソケットビットが必要です。

15 ケラバの取付け

- ① ケラバ接続金具をケラバ前に取り付けます。
- ② ケラバ前、(ケラバ後)を上枠に取り付けます。
- ③ 庫内から(ケラバ)を固定します。(3ヶ所は(屋根止結金具)を用いてボルト固定します。)
- ④ ケラバ上面を屋根に固定します。

使用ボルト ①②③ ボルトM6×15(白)
④ ルーフドリルビス6φ×28
M8ナット(色付き)

16 鼻隠し前の取付け

- ① ※連棟の場合、(鼻隠し前接続金具)を前柱中に取り付けます。
- ② 5562Hタイプは桁前中央に鼻隠し前接続金具と(スペーサー)を取り付けます。
- ③ (鼻隠し前)を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
- ④ (桁前カバー)を桁前、鼻隠し前に取り付けます。
- ⑤ 換気栓を桁前カバーに取り付けます。

使用ボルト ①② パイント小ネジM6×14
③④ ボルトM6×15(色付き)
ルーフトドリルビス6φ×28

※換気栓は必ず外側1つは必ずスライドさせ、しっかり固定されていることを確認してください。

17 鼻隠し後の取付け

- ① ※連棟の場合、(鼻隠し後補強金具)を桁後に取り付けます。
- ② (鼻隠し後)を屋根に取り付けます。
- ③ (鼻隠しコーナー樹脂(後))を鼻隠し後、ケラバに取り付けます。
- ④ ※連棟の場合、連結部は鼻隠し後接続金具、鼻隠し後補強に取付けます。

使用ボルト ① ルーフドリルビス6φ×28
② ボルトM6×15(白)
④ ボルトM6×15(白)+M6ナット

18 袖柱の取付け

- ① 袖柱を前柱に取り付けます。
- ② 袖柱を桁前に取り付けます。
- ③ 連結部の下部には(袖柱カバー)を取り付けます。(間仕切り切付の場合は不要です)

使用ボルト ① ボルトM8×25(白)
② ボルトM6×25(色付き)

アンカープレートと前柱を止めているボルトを外し、袖柱を共締めしてください。

※袖柱は、上図のように穴を掘って袖柱を取り付けた後、モルタルで埋めてください。

注) 袖柱の根元は切断せずに必ず埋め込んでください。

19 桁前補強の取付け

- ① 桁前補強を桁前に取り付けます。
- ② (桁前補強)を袖柱に取り付けます。

使用ボルト ①② ボルトM8×25(色付き)
③ クッションゴム付きボルト

※桁前中央部分のネジ孔(2ヶ所)は電動用レールの取り付けに使用しますのでボルト固定は不要です。

20 完成

注 オーバーライダーは後日、別途工事となりますので、オーバーライダー用の梱包は、開梱せずに、雨に濡れない場所に保管しておいてください。

お客様へ
組立説明書と取扱説明書・保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認し、前柱中、中柱中の基礎部を、モルタルで埋めてください。テックス等の切粉は必ず取り除いてください。下図の位置に銘板を貼付けてください。銘板は錠の裏側にあります。お客様にお渡しください。本書と取扱説明書はお客様にお渡しください。

ヨドコウ ラヴィージュⅢ (オーバーライダータイプ)

ヨドコウ
淀川製鋼
(2020年A制作)